

## もう一つのパラダイス

宮崎刀史紀

(ロームシアター京都 管理課長)

日本時間の昨年11月6日午前3時。英領バミューダ諸島といった「タックスヘイブン」(租税回避地)に関する1340万件にものぼる流出文書をもとにした報道が世界中で一斉に始まった。様々な企業や富裕層、権力者が「課税逃れ」などに関わっていることが明らかにされる端緒となったこの資料に付けられた名前は「パラダイス文書」——、この報道に接してとっさにあの「京都パラダイス」に思いを巡らしたのは私だけではあるまい(と思いたい私だけかもしれない)。

思い起こせば4年ほど前。ロームシアター京都の立ち上げに従事することとなり、京都は岡崎という地とご縁が出来た。ここには、2つの美術館、図書館、動物園、みやこめっせ(勸業館)、岡崎公園、そして平安神宮などという錚々たる面々が揃っている。そんなこの地の歴史をひもとくなかで、ずっと気になっているのが、大正末期にわずか数年だけ岡崎に存在した「京都パラダイス」である。

それは、現在の京都市美術館の場所から疏水を挟んで南側の地に存在した5千余坪の「遊園地」の名前だ。疏水の水力発電所工事への参画をきっかけにこの地に工場を建てた「奥村電機」が、手狭になった工場を移転し(大正9年頃)、その跡地に開園した。

日本初とも言われる「低空飛行機」(回転遊具)や、当時流行していた「大瀑布」(人口の滝)、また、レストラン、温泉などがあったようで、劇場もあった。一時期は、菊人形館や社交ダンス倶楽部もあったらしい。この劇場で上演された演目の中から、いくつかを独断と偏見で並べてみると……(もちろんこれ以外にもっと「普通」の作品も上演されている)。

伝説的歌舞劇「白鳥姫」、オペレット「藪医者」、滑稽舞踊「甘き人々」、悲劇「恵まれざる詩人」、童話劇「御利口過ぎて」、舞踊詩劇「原始と文明との中間に怯えるもの」、舞踏「ベースボールダンス」、歌劇「酒の由来」、喜歌劇「俺は偉いぞ」、少女歌劇 歌劇「八ッ橋」、喜劇「就職難」、少女歌劇 歌劇「洗濯大会」……。なお、オープン一周年記念の催しでは「俳優変装競技」が行われたとか。

当時は、日本各地で数多くの「少女歌劇団」が活動していた時期であり、京都パラダイスでも少女歌劇が上演されていた。そういえば、宝塚も、最初に設置された劇場の名前は「パラダイス劇場」であった。成功した宝塚にあやかって、ということか。

「劇場文化をつくる」を標榜し開館したロームシアター京都に身を置く者として、専属劇団まで擁していた劇場がこの地に存在していたことを知らないとは言えまい。しかし、この地に存在した「パラダイス」は短期間で消滅し、まとまった記録も見当たらず、残念ながらまだ断片的な情報にしか触れられていない。我々はずい、長く続いていたり、「芸術」「文化」と呼ばれそうなもの、「公立」だったり大きな催しなどに目を向けがちであるが、そうはならなかったもの、なり得ないものの中にも、こんな心惹かれてしまうものはたくさんありそうで、それを見つけることもまた楽しい。願わくば、この地にあった「パラダイス」の姿を垣間見て、当時の人々の生き様やこの地域のあり方、そしてそもそも劇場とは何かに思いを寄せられたら……。手がかりとなる「京都パラダイス文書」が発見される日を心待ちにしている。

京都国立近代美術館賛助会員

特別会員 **木下グループ** | **FUJIFILM**一般会員 **ワコール** | **中央信用金庫** | **KYOCERA**

当館は上記の賛助会員の皆様からご支援、ご支持をいただいております。

2018年4月16日 発行 視る 493号

編集・発行 | 京都国立近代美術館

〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町 電話 | (075)761-4111(代表)

編集協力 | 株式会社福本事務所

組版フォーマット設計・表紙デザイン | 大西正一 印刷 | 野崎印刷紙業株式会社

表紙 | 岡本神草《拳を打てる三人の舞妓の習作》1920年 京都国立近代美術館藏